

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2026 年 5 月 4 日 17 : 30
場所 Place	NODENアリーナ (能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
東 山	(23 1st 20 15 2nd 15 24 3rd 16 19 4th 17 0 T)	桜 丘
81		68
○		●

主審:Crew chief
小野 裕樹 青森
副審:Umpire
田中 直幸 秋田
佐々木 飛翔 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校 女子

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	鈴木 勇功		0	0	0	0	2	1	竹内 光一	cap	9	1	3	0	1
5	中村 颯斗	cap	13	3	0	4	1	4	森 蒼心		2	0	1	0	1
6	大森 来玖		5	1	1	0	4	5	波多野 碧音		2	0	1	0	1
7	新井 伸之助		17	1	5	4	2	7	プリム レサダ		3	1	0	0	2
8	佐藤 久遠		16	0	6	4	3	11	小川 泰乃丞		0	0	0	0	0
9	イトウ プ ワシ エノック		13	0	6	1	1	13	前田 晴舞		13	2	3	1	2
10	香月 遥斗		3	1	0	0	0	16	水野 良太郎		0	0	0	0	1
11	峰崎 仁		0	0	0	0	0	18	森 奎都		-	-	-	-	0
12	朝田 勇希		-	-	-	-	0	19	佐藤 隼斗		-	-	-	-	0
13	吉本 拓司		6	0	3	0	0	22	平澤 恵太		0	0	0	0	2
14	井川 瑛心		-	-	-	-	0	23	尾崎 夏希		6	2	0	0	1
15	ゼンザ マワ クレド		8	0	4	0	0	24	万江 駿汰		-	-	-	-	0
16	伊藤 凧		0	0	0	0	1	31	竹内 海吏		-	-	-	-	0
	コーチ 大澤 徹也						0	32	竹本 虹輝		12	0	5	2	3
	Aコーチ 東 武史						0	33	ケイ 大允		-	-	-	-	0
	合計		81	6	25	13	14	34	水野 誠太郎		8	0	3	2	3
								42	モハト マー		13	3	2	0	3
								51	大井 佑悟		-	-	-	-	0
								コーチ 水越 悠太							0
								Aコーチ 山辺 正幸							
								合計			68	9	18	5	20

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	17	20.99%	新井 伸之助
2	16	19.75%	佐藤 久遠
3	13	16.05%	中村 颯斗
13	16.05%	イトウ プ ワシ エノック	

1	13	19.12%	前田 晴舞
1	13	19.12%	モハト マー
3	12	17.65%	竹本 虹輝

Score ranking [Game]

1	17	新井 伸之助	東 山	2	16	佐藤 久遠	東 山	3	13	前田 晴舞	桜 丘
								3	13	モハト マー	桜 丘
								3	13	中村 颯斗	東 山
								3	13	イトウ プ ワシ エノック	東 山

1Qの序盤はシーソーゲーム。桜丘は#42マーがディフェンスリバウンドを確実に取ることで速攻につなげ、#32竹本にボールを集めて得点する形を多く見せる。東山は#8佐藤がジャンプシュートを効果的に決める。#42マーが2本目となる3Pを決めて13-16と一歩抜け出したように見えたが、その後に桜丘#32竹本が2つ目のファウルを犯して交代を余儀なくされる。東山は#10香月の3Pで追いつくと、終盤に#7新井がダブルクラッチでシュートを決め23-20と3点リードで1Qを終える。

2Qも東山がリードを保つ形で試合が進むが、桜丘ベンチから「雰囲気上げよう」の掛け声。その声に反応したのか、ここから桜丘は#1竹内のドライブなど6連続得点で、3:25、遂に31-31の同点に追いつく。桜丘は試合に戻った#32竹本のパワープレー、東山は#15クレドのゴール下などで加点し、38-35と東山3点リードで前半を終える。

3Q、東山#8佐藤の速攻が決まり、この試合最大の6点差となった6:57に桜丘がタイムアウト。立て直しを図ったが、ここから東山の猛攻が始まる。#5中村の2本の3P、#9エノックがリバウンドに得点にと大活躍を見せ、3:08に桜丘が次のタイムアウトを取るまでの間に14得点する。2度目のタイムアウト後は、一つ一つのプレーに盛り上がるベンチと一体になって桜丘が追い上げを図る。#23尾崎がブザービーターを含む2本の3Pを決めるなど62-51と差を詰めて3Q終了。

4Qは10点を挟んで点を取り合う展開が続くが、東山#9エノックがオフェンスリバウンドからバスケットカウントを奪う3点プレーを決めたところで東山の大澤コーチからディフェンスに関する檄が飛ぶ。これを受けて東山のディフェンスにスイッチが入り、桜丘は得点が止まる。最終スコア81-68で東山がこの熱戦を制した。